2023年6月作成（第1版）　　医療機器認証番号：14900BZZ00566000

機械器具　51　医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器　　輸液ポンプ用延長チューブ　（JMDNコード：12170052）
（輸液用延長チューブ（JMDNコード：12170001））

サフィード延長チューブ

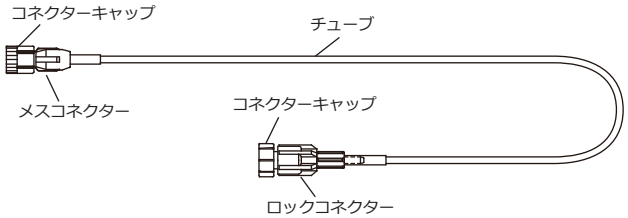
（ＰＶＣフリー、ＰＰメスコネクター）

再使用禁止

【禁忌・禁止】
＜使用方法＞
再使用禁止、再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

＜構造図（代表図）＞



血液・体液に接触する部分の原材料一覧

部品名	原材料
メスコネクター	ポリプロピレン
チューブ	ポリブタジエン
ロックコネクター	ポリカーボネート
潤滑剤	シリコーン油

＜原理＞
本品は、輸液セット等に接続し、静脈注射用医薬品を投与するための延長チューブである。輸液セットと接続することで輸液用ポンプを用いて輸液を供給することが可能な輸液ポンプ用延長チューブである。なお、重力（自然落下）による輸液供給も可能である。

【使用目的又は効果】

＜使用目的＞
本品は、輸液セット等に接続し、静脈注射用医薬品の投与を行うための延長チューブである。

【使用方法等】

1. 汚染に十分注意し、本品を包装から取り出す。
2. 輸液セット等のオスルアーテーパーのコネクターをメスコネクターに確実に接続する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1. あらかじめ接続部に緩みがないことを確認してから使用すること。
2. 本品先端のコネクターに適当な静脈針等を確実に接続してから使用すること。
3. 本品が身体の下等に挟まれないように注意すること。［チューブの折れ、閉塞、部品の破損等が生じる可能性がある。］
4. 本品に衝撃を与えないこと。［破損する可能性がある。］
5. チューブが折り曲げられたり、引っ張られた状態で使用しないこと。
6. コネクターを使用する場合は、以下の事項を順守すること。
   (1) 他の医療機器と接続する場合は、過度な締め付けをしないこと。［コネクターが外れなくなる、又はコネクターが破損する可能性がある。］
   (2) テーパー部分に薬液を付着させないこと。［接続部の緩み等が生じる可能性がある。］
7. ワンタッチクレンメが付いている場合は、クレンメを閉じるときに、チューブが確実に閉塞したことを確認すること。［クレンメ内でチューブがずれ、閉塞されない可能性がある。］

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. プライミング後は直ちに薬液を投与すること。［薬液が汚染される可能性、又はアルカリ性の強い薬剤等においては析出物が生じる可能性がある。］
2. 使用中は本品の破損、接続部の緩み及び薬液漏れ等について、定期的に確認すること。
3. ひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。
4. チューブを鉗子等でつまんで傷をつけないように、また、注射針の先端、はさみ等の刃物、その他鋭利物等で傷をつけないように注意すること。［チューブに液漏れ、空気の混入、破断が生じる可能性がある。］
5. チューブ及びチューブと接合している箇所は、過度に引っ張るような負荷やチューブを押し込むような負荷、チューブを折り曲げるような負荷を加えないこと。［チューブが破損する、又は接合部が外れる可能性がある。］
6. 血管造影剤等の高圧注入には使用しないこと。［液漏れ又は破損する可能性がある。］
7. ワンタッチクレンメが付いている場合は、チューブと硬質部材（コネクター等）との接合部付近でクレンメを操作しないこと。［チューブがクレンメに噛み込まれ、破損する可能性がある。］
8. ロックコネクターとポリ塩化ビニル製のメスコネクターを接続する場合は注意すること。［外れなくなる可能性がある。］
9. 保管条件によって、チューブ等が変色する場合があるが、性能、安全性に問題はない。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞
水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。
＜有効期間＞
使用期限は外箱に記載（自己認証による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：**テルモ株式会社**
電　話　番　号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター
外国製造業者：泰尔茂医療産品（杭州）有限公司
Terumo Medical Products (Hangzhou) Co., Ltd.
国　　名：中華人民共和国

TERUMO